



MY PINK ACTION

知ろう、自分と乳がんのこと。

PINK RIBBON SYMPOSIUM 2022

ピンクリボンシンポジウム

—乳がんの最新医療トピックス—



シンポジウムご視聴の皆様へ



どんなときも、あなたは決してひとりじゃない。
乳がん専門医やあなたと同じ
乳がんと向き合っている
ゲストのお話を Web で展開します。

動画
配信

2022年10月1日(土)スタート

視聴
方法

ピンクリボンフェスティバル公式サイト内「シンポジウム」ページにて
<https://www.pinkribbonfestival.jp/symposium/>

協賛

日本イーライリリー(株)、富国生命保険(相)、ホクト(株)

協力

キリンビバレッジ(株)、ジュピターショップチャンネル(株)、スコラゲン(株)、
住友生命保険(相)、セコム損害保険(株)、大樹生命保険(株)、大鵬薬品工業(株)、
(株)トライ・インターナショナル、日本生命保険(相)、ユニ・チャーム(株)

主催

ピンクリボンフェスティバル運営委員会(日本対がん協会、朝日新聞社など)

後援

厚生労働省、東京都、兵庫県、日本医師会、日本看護協会、日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、
日本癌治療学会、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会

広報協力

ソニーネットワークコミュニケーションズ

プログラム一覧



PostPet™

動画
①

《講演》
**乳がんの
診断と治療**
—最近の話題より—

講師：中村 清吾 先生
昭和大学臨床ゲノム研究所所長・
昭和大学病院プレストセンター長
(乳腺外科特任教授)

動画
②

《講演》
**最新の
乳がん治療**

講師：相良 安昭 先生
社会医療法人博愛会 相良病院 院長

動画
③

《講演》
**リスクに合わせた
乳がん検診**

講師：村上 和香奈 先生
昭和大学放射線医学講座 特別研究生,
相良病院 特別研究員

動画
④

《ゲストトーク》
**『乳がんになった』
その先にあるもの**

ゲスト：栗原 友 さん
料理家



《講演》

乳がんの診断と治療 —最近の話題より—



中村 清吾 先生

昭和大学臨床ゲノム研究所所長・
昭和大学病院 プレストセンター長
(乳腺外科特任教授)

他 役職

日本外科学会名誉会員
日本乳癌学会名誉会員
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会監事
一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構理事長
日本乳腺甲状腺超音波医学会 (JABTS) 顧問

1982 年	千葉大学医学部卒
1982 年	聖路加国際病院外科にて研修
1997 年	M.D. アンダーソン癌センターほかにて研修
2003 年	聖路加国際病院外科医長
2005 年	同プレストセンター長
2010 年	昭和大学医学部乳腺外科教授、同病院プレストセンター長
2021 年	同がんゲノム医療センター長兼務

主 な 著 書	『遺伝性乳がん・卵巣がんの基礎と臨床』篠原出版社 (2012 年)
	『「乳がん」と言われたら・・・』保健同人社 (2012 年)
	『乳がん 正しい治療がわかる本』法研 (2008 年)

講演の ポイント

- 1 ゲノムから考える乳がんの成り立ち
- 2 遺伝性乳がん卵巣がんへの対策
- 3 乳がんハイリスク検診について

我が国では、2021.4 より、遺伝性乳がん卵巣がんに対する一連の医療行為 (遺伝カウンセリング、BRCA 遺伝学的検査、対側乳房に対するリスク低減手術、リスク低減卵管卵巣摘出術、乳房 MRI による年 1 回の検診) が保険適用となった。これまで、乳癌、肺癌、胃癌などと、臓器別に診療体系が整備されてきたが、癌の成り立ちから治療体系を考えると、発症の起点となっている遺伝子の病的変異を特定して、治療方針を検討することが、今後ますます必要になるであろう。その典型例が、遺伝性乳がん卵巣がんであり、それらのがん特有の効果を示す PARP 阻害薬 (商品名: リムパーザ) の適用は、既に、乳がん、卵巣がんのみならず、前立腺がんや膵がんに広がりを見せている。

また、遺伝子検査機器 (次世代シーケンサーといわれる) の高度化、低価格化により、多数のが

ん発症に関わると言われている遺伝子を網羅的に調べることができるようになってきた。欧米で報告されてきた遺伝子群が、日本人でも同じような頻度で見つかるのか、今後の研究結果が待たれる。その他、未だ癌を発症していないものの既発症者の同一家系員内に、がん未発症ではあるが、遺伝子の病的変異を有する人が見つかるようになってきた。乳がん発症リスクが、一般の方の 10 倍以上とも言われているハイリスクの方への検診は、別途対策が必要である。

さらに、日常診療で遺伝子情報が扱われるようになると、その情報が漏洩し、就職に支障をきたしたり、民間医療保険への加入が断られたりすることを防がなければならない。そこで、遺伝子情報は電子カルテ等で繋がる医療者間で共有すべきである一方、遺伝子情報を悪用した差別を禁止する法整備が必要である。



《講演》

最新の乳がん治療



相良 安昭 先生

社会医療法人博愛会
相良病院 院長

他 役職

京都大学大学院 外科学講座 乳腺外科, 非常勤講師
東海大学 医学部 医学科 客員教授
Japan Breast Cancer Research Group (JBCRG) 理事
Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 乳癌グループ 代表委員

略歴

2001 年	鹿児島大学 医学部卒業
2001 年	九州大学付属病院 消化器・総合外科 (第二外科) 入局
2002 年	九州大学生体防御医学研究所 腫瘍外科
2003 年	九州がんセンター 乳腺科・外科
2004 年	大分県立病院 外科

2005 年	相良病院
2013 年	米国 ダナファーバー癌研究所, プリガムアンドウィメンズホスピタル 客員研究員
2017 年	米国 ハーバード大学 公衆衛生大学院卒業
2018 年	相良病院 院長

主な著書

『日本乳癌学会乳癌診療ガイドライン (薬物療法)』作成委員 金原出版 (2013 年, 2015 年, 2018 年度版)

『乳房 MRI を極める!—サーベイランスから MRI ガイド下生検まで』共著 インナービジョン (2019 年)

『乳癌診療エッセンシャルガイド』編著 中外医学社 (2022 年)

『乳腺腫瘍学 (第 4 版)』分担執筆 金原出版 (2022 年)

講演のポイント

1 体への負担が少ない手術

2 個別化医療の確立

3 新しいタイプの薬物療法

食生活の変化や高齢化などによってがん罹患する方は年々増加しています。皆さんご存知のように、乳がんは女性が最も多く経験するがんで、一個人にもまた社会的全体にとっても影響が非常に大きい病気です。国内において年間約 9 万 4 千人の方が乳がん罹患しており、これは約 9 人に 1 人の女性が一生のうち乳がん罹患していることとなります。乳がん治療の発展は日進月歩ですが、その中でも特に重要な例を 3 つご紹介したいと思います。

まず、乳がん手術による乳房の変形は最小限に抑えられ、術後の痛みなどの身体の負担も少なくなりました。これは、画像診断の発達によってがんの広がりや正確に診断することができ、術後の

放射線治療によって顕微鏡レベルのがん細胞を死滅させることが出来るようになったためです。

次に、乳がんの性質 (サブタイプ) やご本人の遺伝子情報をもとに最適な手術方法や薬物治療を選択することができるようになりました。乳がんに関わる 21 ~ 70 遺伝子を用いて乳がん術後の再発リスクや抗がん剤のメリットをより正確に予測することが出来るようになっていきます。このような「個別化医療」が確立したことはとても大きな飛躍です。

最後に、分子標的薬という新しいタイプの薬が次々と開発されてきたことによって、乳がんの生存率は劇的に改善しました。正常な細胞への影響が大きい抗がん剤と異なり、がん細胞が持つ特定の分子の働きを抑えて、副作用が比較的少なくがん細胞を効率的に攻撃することができます。

上記の新しい治療法や薬の安全性と効果は、全て臨床研究を通じて明らかになりました。今までの多くの研究結果に基づいた、効果が一番高く最も安全で確実な治療法を標準治療と言います。がん治療を専門とする私たち医療者は標準治療の実践に加え、研究を通じて乳がん医療の発展に取り組んでいます。



リスクに合わせた乳がん検診



村上 和香奈 先生

昭和大学放射線
医学講座 特別研究生、
相良病院 特別研究員

略歴

2010 年防衛医科大学校卒。防衛医科大学校放射線医学講座にて放射線科専門研修を修了。相良病院特別研究員および昭和大学特別研究生として、乳腺放射線科の分野において臨床研究に従事。2019 年より 2 年間、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 乳腺放射線科に留学。

主な著書

Murakami W, Tozaki M, Nakamura S, Ide Y, Inuzuka M, Hirota Y, et al. The clinical impact of MRI screening for BRCA mutation carriers: the first report in Japan. Breast Cancer. 2019;26(5):552-561.

Murakami W, Tozaki M, Sasaki M, Hida AI, Ohi Y, Kubota K, et al. Correlation between 18F-FDG uptake on PET/MRI and the level of tumor-infiltrating lymphocytes (TILs) in triple-negative and HER2-positive breast cancer. Eur J Radiol. 2020 Feb 1;123:108773.

Murakami W, Tozaki M, McCann KE, Lee-Felker S. Hereditary Breast and Ovarian Cancer. Singapore: Springer; c2021. Chapter 8, Risk-Based Breast Cancer Screening; p. 107-128.

Murakami W, Choi HW, Joines MM, Hoyt A, Doepke L, McCann KE, et al. Quantitative Predictors of Response to Neoadjuvant Chemotherapy on Dynamic Contrast-Enhanced 3T Breast MRI. J Breast Imaging. 2022

講演の ポイント

1 乳がんリスクとは

2 デンスブレスト

3 リスク層別化された検診とは

近年、『個別化医療』という用語をよく耳にしませんか。

個別化医療を進める上で不可欠な要素として、各個人のリスク評価が挙げられます。乳がんのリスク因子は多岐にわたりますが、各因子は個人的素因・病理組織学的素因・遺伝的素因の3つのカテゴリーのいずれかに分けられます。諸外国では、これらを包括的に評価した生涯リスクが15%未満を平均リスク群、15-20%を中間リスク群、20%より超えた場合はハイリスク群としてマネジメントされています。このようにリスクは個人により異なりますが、本邦で推奨されている検診は2年に1度のマンモグラフィ検査と一律であります。これで十分でしょうか。

さて、乳腺濃度が不均一高濃度および極めて高

濃度である乳房はデンスブレストと称されますが、前述の乳がんリスク因子の一つにデンスブレストが挙げられます。同時にアジア人の50歳未満の8割がデンスブレストであることも知られています。また、デンスブレストには超音波検査の追加が有用であることも知られており、厚生労働省が実施している大規模臨床試験「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 (J-START)」においても日本人の乳房に対する超音波検査の有効性が示されました。今後の検診制度を見直す上で、欠かせない問題です。昨今、欧米では前述の各リスク層別に異なったマネジメントが行われ始めています。一方、日本では、リスク層別化に関連したところで、遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC) のみが特別扱いとなっているのが現状です。2020年度の診療報酬改定において HBOC 患者へのリスク低減乳房切除術・乳房再建術などが保険適用となりました。これを契機に、今後、遺伝子検査や未発症者に対するスクリーニング検査の需要が増大していくものと考えます。

今こそ、リスク評価の方法や各リスク別のマネジメントの構築に取り掛かるときではないでしょうか。



《ゲストトーク》

『乳がんになった』 その先にあるもの



ゲスト

栗原 友 さん
料理家

プロフィール

築地で水産卸売業を経営。国内外のレストランに鮮魚を納めるほか、魚食の啓蒙活動、料理家として雑誌やテレビでレシピを紹介している。母に栗原はるみ、弟に栗原心平を持つ料理家一家。



聞き手

河野 美和 さん
フリーアナウンサー

プロフィール

九州福岡出身のフリーアナウンサー。TNC テレビ西日本時代にはプロ野球ソフトバンクホークスなどのスポーツ番組を7年担当。インタビューは延べ2000人を超え、結婚後はキャリアカウンセラーとして全国の大学・高校にキャリア授業を展開。その他に心理学エンアグラムファシリテーター、健康管理士一般指導員、留学カウンセラー、マナー講師の資格も持つ。2017年乳がんが見つかり、信頼できる医師と家族、友人に助けられて、もうすぐ5年が経つ。

トーク 概要

料理家の栗原友さんは、2019年に左胸に乳がんが見つかりました。主治医の勧めで受けた遺伝子検査で乳がんや卵巣がんになるリスクが高い「HBOC」（遺伝性乳がん卵巣がん症候群）と分かり、予防のため、がんが見つかっていない右胸も左胸と同時に切除し、翌年には卵巣・卵管の切除手術も受けました。

「人生で一度くらい、人のためになることがしたい」と思い、2020年、乳がんになったこと、両胸を手術で切除したことを公表しました。自分

の体験を伝えることが、同じ病気の人の役に立つなら・・・という思いで今回シンポジウムへ出演、最初に乳がんと告知された時のお気持ち、遺伝子検査を受け予防切除・再建手術を決断した経緯、主治医の先生方や遺伝カウンセラーとの信頼関係について、さらに遺伝性の乳がんと分かったことで当時4歳だった娘さんをはじめご家族への対応に悩みどのように伝えたかや治療と育児を両立するために周囲の方を頼りにされたエピソードなど、様々なお話をさせていただきます。



第13回

リリー・オンコロジー・オン・キャンパス

がんと生きる、わたしの物語。

絵画 × 写真 × 絵手紙 コンテスト

コンテスト作品募集

あなたの物語を表現してみませんか

応募登録期間（当日消印有効）

2022年8月23(火)～2023年1月31日(火)

リリー・オンコロジー・オン・キャンパス事務局

〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル7階（東武トップツアーズ メディカルカンファレンスセンター大阪内）

☎ 0120-78-1307 10:00～18:00 平日（土日祝日除く）

✉ info@locj.jp

🌐 www.locj.jp



■主催：日本イーライリリー株式会社 ■後援：厚生労働省 公益財団法人 日本対がん協会 兵庫県 神戸市 大阪市

短期入院も、
長期入院も、
その前も

幅広保障の医療保険

ワイド・プロテクト

医療保険（有配当/2022）



富国生命保険相互会社

〒100-0011 東京都千代田区幸町2-2-2
https://www.fukoku-life.co.jp

フコク生命

「ワイド・プロテクト」
について、詳しくはこちらから



NO KINOKO, NO DAYS.



大切な毎日を、大切な一日に ～カラダ整う ココロ潤う～

HOKUTO



PostPet™